

# ジェネリック医薬品を

## 選びましょう

詳しくは医師・  
歯科医師・薬剤師に  
ご相談ください。



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」

◆医薬品の供給が不足した場合に、  
医薬品の処方等の変更等に関して  
適切な対応ができる体制を整えて  
おります。

◆医薬品の供給状況によって投与する  
薬剤が変更となる可能性があります、  
その際は患者様にご説明いたします。

### ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品のことです。

### 国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

### 低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

### 医療保険制度を次世代に引き継ぐ

国民医療費の増大を抑制することにより、現在の優れた医療保険制度を維持し、子供たちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

## 【後発医薬品・バイオ後続品の使用促進及び一般名処方に関するお知らせ】

戸田中央総合病院  
院長 佐藤 信也

### ■地域支援・医薬品供給対応体制加算に係る取組について

当院では、厚生労働省の方針に基づき、患者さんへの適切な医療の提供及び医療保険制度の持続可能性の確保に資するため、後発医薬品（ジェネリック医薬品）及びバイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進に取り組んでおります。また、医薬品の供給不足等が発生した場合においても、適切な治療を継続できるよう、医薬品の供給状況を踏まえた対応体制を整備しております。医薬品の供給状況によっては、同一の有効成分を有する他の医薬品への変更や、治療計画の見直し等を行う場合があります。その際は、患者さんへ十分な説明を行ったうえで対応いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ■後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

後発医薬品とは、先発医薬品（新薬）の特許期間満了後に製造販売される医薬品で、先発医薬品と同じ有効成分を含み、品質・有効性・安全性が同等であることが確認された医薬品です。

開発費用が抑えられていることから、先発医薬品に比べて薬剤費を軽減できる特徴があります。

### ■バイオ後続品（バイオシミラー）について

バイオ後続品とは、先行バイオ医薬品の特許期間満了後に開発される医薬品であり、品質・有効性・安全性について先行バイオ医薬品と同等であることが確認された医薬品です。

当院では、患者さんの医療費負担の軽減や医療保険制度の維持に資するため、厚生労働省が承認したバイオ後続品の使用を推進しております。

### ■一般名処方について

当院では、後発医薬品の使用促進及び医薬品の安定供給に向けた取組として、「一般名処方」を実施しております。一般名処方とは、お薬の商品名ではなく、有効成分の名称を処方箋に記載する方法です。一般名処方を行うことにより、医薬品の供給不足が発生した場合であっても、有効成分が同じ医薬品を選択しやすくなり、患者さんに必要な医薬品を安定的に提供しやすくなります。

また、後発医薬品がある医薬品について、医療上の必要性が認められないにもかかわらず、患者さんの希望により長期収載品（先発医薬品）を選択した場合には、後発医薬品との差額の一部（先発医薬品と後発医薬品の価格差の2分の1相当の料金）について、選定療養として患者さんにご負担いただくことがあります。

当院では、医薬品の供給状況や長期収載品の選定療養制度について説明を行うとともに、一般名処方の趣旨をご理解いただけるよう努めております。

ご不明な点がございましたら、医師、薬剤師又は職員までお尋ねください。